

# オートボック装具 取扱引書 ② (製品篇)

## 5065N オモ ニューレкса プラス

### 義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱引書①(基本篇)と取扱引書②(製品篇)をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。

また取扱引書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

### 【適応・用途】

『5065N オモ ニューレкса プラス』は、各種疾患に伴う神経症状起因の上肢・肩関節の機能不全や障害などのために肩関節にかかる負荷を軽減するための上肢懸垂用肩関節装具です。



**注意**

● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。

### 【特徴】

本製品は装着することで、関節構成体の負担軽減に加えて、自然肢位の保持(不良肢位・動作の改善)、歩行訓練時の体幹の安定効果が期待できます。

### 【構造】

本製品は以下の要素で構成されています。

- ① ショルダーカフ
- ② 前腕カフ
- ③ 懸垂ストラップ(短)
- ④ 懸垂ストラップ用 カン
- ⑤ 懸垂ストラップ(長)
- ⑥ シリコンパッド
- ⑦ 腋窩パッド
- ⑧ 上腕ストラップ
- ⑨ 補助ストラップ
- ⑩ 幅広ベルト

主に『ショルダーカフ』および『前腕カフ』の2つの部品から構成されており、『ショルダーカフ』と『前腕カフ』は、2本の『懸垂ストラップ』により、連結されます。



5065N

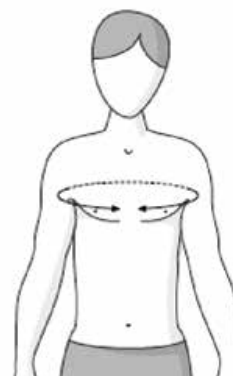


### 【サイズの選び方】

左右、サイズを選択してください。

(一箱:1個入り)

発注品番	左右/サイズ		適用範囲
			胸部周径(cm)
5065N=R-XXS-7	右	XXS	71.0 ~ 79.0
5065N=R-XS-7		XS	79.0 ~ 86.0
5065N=R-S-7		S	86.0 ~ 94.0
5065N=R-M-7		M	94.0 ~ 102.0
5065N=R-L-7		L	102.0 ~ 110.0
5065N=R-XL-7		XL	110.0 ~ 118.0
5065N=L-XXS-7	左	XXS	71.0 ~ 79.0
5065N=L-XS-7		XS	79.0 ~ 86.0
5065N=L-S-7		S	86.0 ~ 94.0
5065N=L-M-7		M	94.0 ~ 102.0
5065N=L-L-7		L	102.0 ~ 110.0
5065N=L-XL-7		XL	110.0 ~ 118.0



### 【サイズの測り方】

イラストのように腋下の胸部周径を測ります。

※ 計測値が2サイズにまたがる場合は、大きい方のサイズをお選びください。

## 【装着手順と調整方法】医療従事者・ご家族向け

### 注意

- 本製品を初めて装着される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとした医療従事者による調整と装着手順の指導が必要となります。
- 本製品の機能が効果的に発揮できるように、肌に直接装着することをお勧めしていますが、汚れや装着感などが気になる場合には、滑止め部分（シリコーン部分）に影響しない袖無しの下着（タンクトップなど）、または半袖や袖の長さ調整ができる衣類の上に装着することをお勧めします。
- シリコーン素材により、皮膚障害などを起こす場合があります。アレルギー体質の方や肌が過敏な状態にある方は、医師または義肢装具士など、担当医療機関にご相談ください。

### 備考

- 本製品を日常的に使用される場合には、適切な装着のためにも、医療従事者、介助者などの補助のもとで装着することをお勧めします。（本製品は装着者ご自身により片手で着脱できる構造となっておりますが、自己装着するには、リハビリテーションの過程において、同梱の「片手着脱の手順」にしたがって充分訓練することが必要となります。）
- 1日の装着時間ならびに装着期間は医師の指示に従ってください。
- 毎回使用する前に、正しく機能すること、磨耗や破損がないことを確認してください。
- 正しく機能しない場合や、磨耗や破損がある場合には、使用を中止してください。

装着前に取扱引書①基本篇の【使用上の注意—必ずお読みください—】をよく読み、また、医療従事者による装着手順の指導に従って、正しく装着してください。（写真は右肩への装着方法です。）

### 【装着前の設定】

- ショルダーカフ、前腕カフは連結せず、全てのストラップを緩めます。



写真①

- ① 筒型形状になっているショルダーカフに麻痺側の腕を通します（写真①）。



写真②-1



写真②-2

- ② 肩関節まで装具本体を装着したら、ショルダーカフの面ファスナーを締めます（写真②-1）。

この時、装具本体の赤いラインの縫い目部分が肩関節腔よりも下にくるように設定します（写真②-2）。



写真③

- ③ 固定用の幅広ベルトを腋窩に通し（写真③）腋窩パッドが腋窩の下にくるように設置します。

この時、ベルトが長い場合には、ベルトをカットすることで調整ができます。



写真④

④ 幅広ベルトの前面にあるバックルを留めます（写真④）。



写真⑤

⑤ 上腕骨頭を持ち上げるように装具全体を引き上げ、幅広ベルトを締め込みます（写真⑤）。



写真⑥-1

⑥ 筒形状になっている前腕カフに腕を通します（写真⑥-1）。



写真⑥-2

この時、前腕カフの面ファスナーが前面にくるようにします（写真⑥-2）。



写真⑦-1

⑦ 前腕カフの肘部分の開口部を肘頭に合わせながら、面ファスナーを閉じます（写真⑦-1、⑦-2）。



写真⑦-2



写真⑧

⑧ 懸垂ストラップの長さを選んで、ショルダーカフのボタンに取り付けます（写真⑧）。

納品時には、短いタイプの懸垂ベルト1組（2本）が本体に取付けられており、別途長いタイプ1組（2本）が同梱されています。



写真⑨-1



写真⑨-2

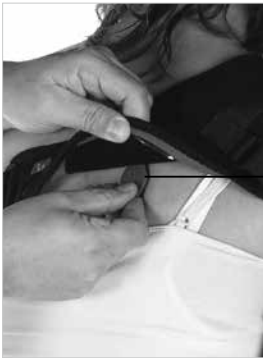
⑨ 懸垂ストラップをカンに通して折り返し、面ファスナーで長さを調節してください（写真⑨-1, ⑨-2）。

肩関節にかかる負荷が軽減され、肩関節外旋・前腕回外位に保持されます。



写真⑩

⑩ 各ベルト・面ファスナーを調整します（写真⑩）。



写真⑪



シリコーンパッド

⑪ オプション：押さえない筋の部位に、面ファスナーを使ってシリコーンパッドを配置してください（写真⑪）。

### 【お手入れ方法と注意事項】



**注意**

● お手入れをされる場合には、取扱手引書 ①【お手入れ方法と注意事項】を必ずご覧ください。

- ・ ショルダーカフ、前腕カフ、懸垂ベルトを全てはずし、別々に手洗いしてください。
- ・ 各パーツに縫付けられている面ファスナーは、フック面とループ面を接着させてからお手入れしてください。

### 【品質表示】

本体：ポリエチレン、ナイロン、ポリウレタン、シリコーン（滑り止め部分）

心材：スチール

パッド：シリコーン

### お問い合わせ先

### 掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

### 輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 [www.ottobock.co.jp](http://www.ottobock.co.jp)

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

O-tebiki-T-5065N-201702-PITIN

# オートボックス装具 取扱引書 ①（基本篇）

## 義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取り扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱引書①（基本篇）と取扱引書②（製品篇）をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。

また取扱引書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

### 【はじめにお読みください】


本製品は装具として該当部位の保護や運動の補助などを目的としていますが、使用される方の健康状態や、使用状況によっては、完全に機能を発揮できるものではありません。部位、目的・用途に合わせてご使用ください。

装具の適応については、必ず医師の診断を受け、指示に従ってください。

### 【使用上の注意 — 必ずお読みください —】

本取扱引書では、安全に関わる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて次のように分類しています。

 **警告** 事故または損傷につながる危険性についての警告

 **注意** 物的破損につながる危険性についての注意

### 【安全に関する注意事項】

 **警告**

- 初めて使用される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとする医療従事者による初期設定と適合調整が必要となります。また、装具装着に関しても、医療従事者の指示に従ってください。
- 身体への異常の発生や症状の悪化を防ぐため、使用前に以下の疾患および症状が見られる場合には使用しないでください。
  - ・ アレルギー体質の方や肌が敏感な状態にある場合
  - ・ 装着部位に湿疹、かぶれなどの各種皮膚疾患、けが、傷、骨折、腫れなどの異常や損傷、または炎症などが見られる場合
  - ・ 装着部位から離れた場所にむくみやリンパ節の異常が見られる場合
  - ・ 手足の血行の異常、しびれなどの知覚異常が見られる場合
- 装着により異常な症状が見られる場合には、使用を中止し、直ちに医師に相談してください。使用を続けると症状が悪化する原因となります。
- 本製品は次のことを必ず守って正しく使用してください。正しく使用されない場合には、製品本来の機能を十分に発揮できないだけでなく、使用者の身体の動きを妨げたり、異常をきたしたりし、事故や損傷などの原因となります。
  - ・ 本製品は、該当部位、使用目的・用途以外を使用しないでください。
  - ・ 本製品を使用する前に適切なサイズが選択されていることを、再度確認してください。締め付け感や圧迫の程度には個人差もありますので、義肢装具士をはじめとする医療従事者は、装着される方に合わせて適切なサイズを選択し、適合調整を行なってください。
  - ・ 必要以上の力で締め付けられた状態で本製品を使用しないでください。過剰な圧迫が加わり、血行障害やしびれなどが発生する恐れがあります。製品の締め付け具合を必ず確認し、必要に応じて義肢装具士をはじめとする医療従事者が製品の調整を行なってください。
  - ・ 医療従事者の方は、使用される方や介護される方に装着手順を指導してください。使用者は、指示された手順に従って装着してください。
  - ・ 前後・上下・裏表・左右などを間違えて使用しないでください。
  - ・ 医師の指示以外では、長時間、連続して使用しないでください。
  - ・ 医師の指示以外では、就寝時や入浴時には使用しないでください。
  - ・ 使用中に製品のゆるみやずれが生じた場合には、必ずはじめから手順通り、正しく装着してください。
  - ・ 本製品は、お一人の装着者に対してのみご使用ください。同一製品を複数の方が使用することにより、衛生面を保てないだけでなく、機能面にも素材の消耗による危険を及ぼす可能性があります。
  - ・ 本製品は、初期設定や適合調整以外の加工、改造、修正は行なわないでください。
  - ・ 本製品に破損や磨耗、変形などの徴候が見られた場合には、使用をしないでください。
  - ・ 装着による違和感などがある場合には使用を中止してください。

## 【取扱い方法と注意事項】



注意

- 本製品は不燃性素材を使用しておりません。製品を火気や熱源に近づけたり、急激に温度が上昇するような場所に放置しないでください。
- 本製品がグリース、酸性剤、軟膏、ローションなどの薬品類に触れないようにしてください。
- 本製品は汗や摩擦などにより、色落ちや他の生地に色移りする場合があります。
- 金属製の素材を使用している場合には、汗や水などによりさびが発生する場合がありますので、濡れたままで放置しないでください。

- ・ 面ファスナーを使用している場合、カギ状になっているフック面により、伝線やほつれなど、本体の繊維や衣類をいためる原因となることがありますので、注意してお取扱ください。
- ・ 本製品を廃棄する際には、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。

## 【お手入れ方法と注意事項】



注意

- 衛生的な状態を保つためにも、下記に従い、本製品に使用している繊維素材を定期的にお手入れすることをオススメします。
- 本製品は、洗濯の際に色落ちしたり、他の生地に色移りする場合がありますので、色の薄いものと一緒に洗濯しないでください。
- 洗濯の際には、30℃以下の水と中性洗剤で丁寧に手洗いし、洗剤が残らないよう、充分すすいでください。
- 乾燥させる際には、日陰で吊り干しし、直射日光にはさらさないでください。
- 乾燥機を使用しての乾燥やドライクリーニング等を行わないでください。
- アイロン、塩素系漂白剤、柔軟剤等の使用はしないでください。製品を傷める原因となります。



- ・ 面ファスナーを使用している場合、繊維を傷めたり、伝線やほつれの原因となることがありますので、フック面とループ面の両面を接着させてお手入れしてください。
- ・ 繊維素材以外の取外し可能なパーツを使用している場合は、本体から取外してお手入れしてください。取外した金属やプラスチックパーツなどは布で水拭きしてください。

## 【その他】

- ・ パッケージの表示写真と実際の製品とでは、色などに違いがある場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 予告なく製品の仕様やデザインが変更されることがあります。
- ・ 製品には万全を期しておりますが、万一不良などお気づきの点がございましたら当社までご連絡ください。

## 【メーカー責任】

オットーボックはメーカーとして、本取扱手引書で指定された取扱方法に従って製品を使用し、ならびに適切なお手入れ方法に従って定期的にメンテナンスした場合にのみ、その責任を負います。オットーボックはまた、本手引書の指示に従って製品の定期的なお手入れと確認を行なっていただくことをお勧めいたします。

## 【CE規格適合】

本製品は欧州医療機器に関するガイドライン 93/42/EEC の要件を満たし、ガイドラインの付表Ⅹの分類基準により、医療機器クラスⅠに分類されています。オットーボックはガイドラインの付表Ⅶに則り、本製品がCE規格に適合していることを保証いたします。

(注) 但し、日本においては本製品は医療機器の分野には分類されていません。

お問い合わせ先

## 掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 [www.ottobock.co.jp](http://www.ottobock.co.jp)

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

O-tebiki-T-BASE-201702